

独立行政法人国立文化財機構の令和4年度業務実績に関する評価結果の反映状況について

中期計画項目	令和4年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘を踏まえた令和5年度の改善の状況
<p>I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信</p>	<p>来館者アンケートについて、回収率・回収数を上げる工夫を継続していただきたい。また、各館で統一の質問項目を作るなど、4館で比較し、業務改善につなげることができるよう工夫を行っていただきたい。</p>	<p>各館の状況に応じ、回収率・回収数を上げるため、アンケートの調査方法についてウェブアンケートの導入、来館者に直接アンケートの協力を依頼する方式、アンケート回答者にノベルティを贈呈するなどの対応を行った。6年度も引き続き多様な属性の来館者から幅広く意見を収集するための方策を検討する。</p>
<p>I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>2. 文化財及び海外の文化遺産の保護に貢献する調査研究、協力事業等の実施</p>	<p>データベースの活用をさらに広めるため、各施設のホームページからのアクセス導線を工夫していただきたい。</p>	<p>「e 国宝」について、東博ウェブサイトのトップページにバナーを掲出した。これにより東京、京都、奈良、九州の4館のウェブサイトのトップページに、「ColBase」と「e 国宝」のバナーを出し、一般の方にも分かりやすいアクセス導線としている。</p>
<p>IV. その他業務運営に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>4. 人事に関する計画</p>	<p>人材の長期育成や各職員のキャリアの検討が可能となるよう、幹部候補者の育成のためのプログラム（必要な経験・ジョブローテーションの明示）や職員のキャリアモデルを示すよう努めていただきたい。</p>	<p>人材の長期育成及び各職員のキャリアビジョン形成の促進のため、キャリアモデルの可視化や幹部候補者育成プログラムの充実について検討している。</p>